

天竺地布



2132  
50



2132  
50

美地之振売

序



深川乃極びる絶に。志うをの心忠  
糸に何の候。四のき結松子本は店者の足と子あ  
八幡乃ぢやんぐハ子息株の胸尔あ寄之き極くと  
押海ぬ糸を。上尔る。色容小通。

富の忠告。糸を糸諸と。糸の  
糸の糸。糸の糸。糸の糸。

方路通小舟も舟とかんきせはくぞい  
見徳の枕小。五十番法骨付と形も抱金も  
元手小保しく。其徳量ハ小く見せせ。温下  
やんど。大病乃心成ちしきと云。文亡目小夢く  
あむはばきと云。奢る河ハ四尋半に。志は道成  
きりして。白魚も中落と嫌ひ。見通し  
氣は水に鮪も脊越といふ。古れど中富が  
道成ちハ大人國の心成と扱ひ。やまこ目かん

跡跡尔多。小人等志補仗とかがりサ  
ら買色の道ちりばや。千金成死に事ハ  
ぬり益成りん。丑の玉子とうのよと安く。  
そくちり分合子と付ふあき。越ちんの葬成。  
車前得も。生と糸と流小冊と見て后ハ  
かきしれもせせ。ゆし終もせ次。志あきく  
踏く美地くかきつるん  
題表係而也

安永ハッ乃

と〜寺のり〜

意方尔向〜

蓬萊山人

帰橋述



美地乃蜃壳

武藏の國の吉原と。下総亦有る。深川の。所か〜

西国橋の海〜天馬と〜宗通有る。右ハ。船者乃

行燈十〜のや〜並左。橋乃。産婦

前曲の〜軒と〜糸。そのまん中〜書〜せども。門口ハ

玄園と。勝子と。兼。庭ハ。諸才と〜迎ませ。四季抄〜の

強と。ゆ〜。獨身〜廿。渡王。片。舟〜。居。居

門口か〜

新筆

唐の羽衣のそり。青系。あ〜の小紋。乃。上。上。念。かん。と。う。修。の。下。は。み。む。さ。さ。わ。く。と。ち。の。ゆ。を。そ。り。ん。

おのれがらんふ おのれがらんふ 是ハ先生にらあゆむ。そのついで月次の席會ふ

糸よりやせふと申のひやうとが肉がちと悪くして糸を

下なんど。在天。實に眞の心言ハ誰が勝中たれと云ふ。

かりとつふをとまてて並すあまとが天馬 多んこはの舟織か。たまはむきの小社か。うん回

ハハの。その色うもる下つふ。 このふふ運ぐ結もあやせん在天ハ

露若さんがお勝ま。は句ハむくひをぐとぞりやと 新筆

何といふ句が系りやと天馬 懐紙とに目ふかけやせう。

とやき枝の机の上へ出た。とやねとをて。かりが吳丸の懐紙もいふを 新筆 天馬さん。モリ。まき若や

物もちのさい糸正天馬書校ハ何と云ふと思ひあさう

や 新筆 どの句で有終ふ見ととるほど。新筆

さんも徳くつ小終。見ととる。天馬 徳持ハ この終持をひの終持

と云ふ。志のまきりの下は終持ハ おのれがらんふ のかのこと。終持は終持

と云ふ。終持は終持のせんきりなり。終持ハ 終持 のせんきりなり。

新筆 天宗うちふり 新筆 是ハお先おあげりひ。そのなを

お目ふかりとやせん。琴若 おのれがらんふ 此は終持のせんきりなり。終持は終持

と云ふ。終持は終持のせんきりなり。終持ハ 終持 のせんきりなり。

おのれがらんふ おのれがらんふ 終持ハ 終持 のせんきりなり。終持ハ 終持 のせんきりなり。

はきどふく<sup>種あり</sup>遠入<sup>の</sup>のき。定<sup>づ</sup>候<sup>ふ</sup>も出<sup>よ</sup>よと<sup>お</sup>めりつ<sup>ご</sup>ら。

おのけ<sup>こ</sup>こ<sup>こ</sup>を<sup>終</sup>入<sup>用</sup>ハ出<sup>来</sup>る<sup>一</sup>。勝<sup>ハ</sup>せ<sup>と</sup>を<sup>盡</sup>河<sup>が</sup>か<sup>し</sup>

夢<sup>ゆめ</sup>と<sup>ら</sup>この<sup>き</sup>を<sup>て</sup>ハ<sup>外</sup>で<sup>も</sup>有<sup>ら</sup>ぬ<sup>く</sup>ひ<sup>す</sup>と<sup>ご</sup>ら<sup>ふ</sup>の。

**歌筆** 何<sup>さ</sup>裡<sup>江</sup>さん<sup>の</sup>入<sup>向</sup>ど<sup>一</sup>江<sup>の</sup>を<sup>出</sup>も<sup>何</sup>と<sup>お</sup>め<sup>り</sup>氣<sup>さ</sup>

乃<sup>ハ</sup>千<sup>浮</sup>と<sup>ふ</sup>向<sup>が</sup>ぬ<sup>あ</sup>この<sup>サ</sup>。後<sup>後</sup>も<sup>モウ</sup>よ<sup>く</sup>ど<sup>う</sup>

一<sup>葉</sup>ど<sup>ま</sup>ち<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>の<sup>こ</sup>と。驚<sup>おど</sup>く<sup>ハ</sup>い<sup>ふ</sup>ん<sup>の</sup>。

何<sup>千</sup>と<sup>二</sup>月<sup>の</sup>二<sup>の</sup>う<sup>ら</sup>と<sup>よ</sup>く<sup>引</sup>び<sup>り</sup>こ<sup>ん</sup>ど<sup>葉</sup>ど<sup>と</sup>

終<sup>く</sup>後<sup>終</sup>ころ<sup>ち</sup>が<sup>向</sup>ど<sup>ら</sup>の<sup>の</sup> **歌筆** お<sup>ま</sup>へ<sup>ハ</sup>乃<sup>と</sup>

御<sup>が</sup>成<sup>り</sup>への<sup>見</sup>せ<sup>ら</sup>ものと<sup>見</sup>る<sup>や</sup>い<sup>そ</sup>う<sup>ま</sup>中<sup>一</sup>。

後<sup>終</sup>時<sup>小</sup>新<sup>が</sup>ど<sup>と</sup>て<sup>せ</sup>への<sup>不</sup>へ<sup>届</sup>ものと<sup>有</sup>ら<sup>ぬ</sup>よ<sup>と</sup> とまか

表<sup>小</sup>の<sup>り</sup>と<sup>し</sup>ゆ<sup>く</sup>の<sup>う</sup>に<sup>付</sup>て<sup>大</sup>く<sup>は</sup>す<sup>の</sup>中<sup>に</sup> う<sup>に</sup>は<sup>文</sup>後<sup>と</sup>二<sup>葉</sup>銀<sup>と</sup>の<sup>け</sup>く<sup>み</sup>と<sup>出</sup>し さ<sup>の</sup>の 後<sup>へ</sup>く<sup>る</sup>も<sup>ん</sup>ど

出<sup>さ</sup>ら<sup>ち</sup>の<sup>と</sup>ま<sup>や</sup>ら<sup>ら</sup>が<sup>有</sup>ら<sup>ぬ</sup> 外<sup>ヤ</sup>屋<sup>ハ</sup>坊<sup>と</sup>が<sup>ぬ</sup>の

事<sup>ど</sup>う<sup>ら</sup>の<sup>ん</sup>ど<sup>お</sup>き<sup>く</sup>が<sup>け</sup>め<sup>と</sup>よ<sup>こ</sup>一<sup>た</sup> **歌筆** 何<sup>ぞ</sup>

この<sup>み</sup>も<sup>紙</sup>ら<sup>ど</sup>の<sup>中</sup>く<sup>を</sup>終<sup>ひ</sup>出<sup>し</sup> い<sup>ひ</sup>も 終<sup>く</sup>終<sup>く</sup>終<sup>く</sup>終<sup>く</sup>

この<sup>く</sup>と<sup>ご</sup>ら<sup>ぬ</sup> **歌筆** 何<sup>ぞ</sup> い<sup>ひ</sup>も 終<sup>く</sup>終<sup>く</sup>終<sup>く</sup>終<sup>く</sup>

を<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup> **終** **終** 用<sup>も</sup>終<sup>へ</sup>か<sup>し</sup>







やうにさう下へうさるかしの地もはういふ  
あふがうちの行とや。豆人形まめびなのあこ子といふ。  
けさひ新あたらぎぬぐさうう。まてく事とまはらた。  
御後ごごやと甲かのつとあ。江戸えどうおてるがぬらと  
つふ。まづまづ房ふ付つく居ゐるが。あんまうあんまう淋しみひふ  
よろこ。兼かみをまが引ひぬ。そののらと出でる。海うみを  
あゆまるといふが。古こ後ごのの塩しほうといふ書しよと出でる  
いふ後ごのの。とていふまじど。おてるがうま後ごう。

何とてと居るとや。お兼かみうつあま。今江戸いまだう後ご  
あつらう。茶ちやはまをうらと居ゐるが。まてく。  
あつらう。まてく。まてく。まてく。まてく。まてく。  
お定さだりののほど。風見かぜみのかしとあつらう。いん  
まてく。まてく。まてく。まてく。まてく。まてく。  
のんが風かぜふが。れく。の。あつらう。まてく。まてく。  
まてく。まてく。まてく。まてく。まてく。まてく。  
あつらう。まてく。まてく。まてく。まてく。まてく。



てゐるありし。と縁の事ハ移りぬき。大い  
らよの江戸で暮んど小井が筆の人の中の計と  
磁石と世をよふ。付く家まきく来いり。ゆん  
五ふ二ふや二ふく暮んぬら。いさつとらな  
船つさくかきやりぬぐの換産さく。店乃  
やらの帳面でも枕の下に並らる。よのし移り  
ゆめのよふふ。らぞせんぬんといふとや引移り  
ふよ。店のや移りい。面が白くてもやらさくよ。

大げく期せん長屋まきも。波海と仕まんとや  
前が先と引し。大か。屋のうらむらぐ屋  
ゆんぞ中ふハ引さるも有らる。まきと後まのの  
眼みら付く。頼ふまきの付く移りの。さく  
やの目と世先の梁ふむ。はく有ら。ちあや  
さく移り。移りな。よさくさく。世思も  
さくさく。なまら。か。は右のちるが  
さく。移り。さく。あ。ゆめ。



あぶらつやうりりあても何とでもい極み海と  
付さの海うみ。お海さんうみさんのよごも。あやと  
出いしあやあややういからうもあふはせはせ(はせ)せんも  
酒と春はるまのの。飛と事とやうううと思おもつて  
りままののと。十九文目母のつととままやうやうのの好このか  
せうせうととううのの。おままもああ切きああううとと幕まくらと。  
**天孝**とままううががいいごご付付のの **後**のの今日切と  
おおののののここららううのの事事なる。江戸江戸うう海海ううととああふ

ままららううななめめんんどど柔ちやうづづ多たととららふふのの柔じゆづづ毎まととららふふのの  
おおしてして柔じゆくくままとと太たくくややもも町ちやう肉にくととくくららととままくく  
ややととままももいい。酒しゆととうう出いとと氣きののままららおおととららとと  
ああららううののああみみ者もののの世よ活かつままくくややひひののまま **天孝**  
よよののああららううかかししれれににああららううのの深ふか河がわにによよはは城しろととらら。  
ままららううのの事こととといいくく極ごくよよとといいくく女をんな大おほいのの通とほの  
よよのの紙かみををななののたたひひよよふふせせううとといいななふふ  
とといいくく。おおのの世よ活かつままくくのの事ことはは極ごくとといいくく。



大小の...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

合と事のみどよほじ。あまがどゆ。ふがまて居る  
のりおちちんと買つてきれたら。[新集]とつて事  
な。今うけいし見せさう。おあもん出たせし。な  
[後集] 伊ともしらの高も有る。坊ももん入ら  
後このさ。[新集] 何あふ。お照えんと買がら。さ何  
あうや。や天宗も付合ふ。け後を[天宗] 秘も  
けさ。今夜ハ即長とさう。ふ来つてる。ごわ  
りふら。[後集] 留まごつて。いへな。大名の町人

[天集] 何家中の[後集] 度しき。か。錢もあふ。あ  
今夜ごめん。お百五十。み。い。け。後。な。[天宗] 秘も  
行たら。の。[新集] ことら。い。め。ん。ご。新集と。ゆ。の  
さ。お。お。け。く。よ。ふ。な。り。ん。ご。と。さ。よ。う。い。か。し。し。こ  
だ。ひ。い。ご。め。は。み。表。上。う。く。ね。こ。い。ん。ち。と。あ。い。と  
買。こ。め。こ。え。よ。ふ。ご。の。後。ら。新。集。と。天。宗。あ。ら。  
な。ご。も。あ。切。し。つ。み。と。笑。い。せ。ら。が。さ。う。ご。落。し。  
[後集] 是ハなるかと。押り。あう。か。こ。ん。あ。も。と。さ。し。



去後したな **新筆** といふなりはしきもきなりし中あり。

舟の行 **舟** とく 舟がよりいざなりやせし **舟** 舟 舟の

その二 **舟** 舟 舟が能く **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

**舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

たさうやせ **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

**舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

舟 **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の **舟** 舟 舟の

よみかきりやせうらふらふぬらうしい歴々とほきく。

向ひりもよみかきりやせふ。琴孝むいのおどろ

すとやもつ内うちが。やい事ことの二階かきがねくか。

廿六夜ふころかしふ。後のふいむのこの天あま辰しんこり

書くくかやど町まちく。如雷ごらいが新あらたみえんとつきて。

け近きん辺へんの店たなやうとまわらぐ。よう書くこのかた大方

親おや阿あがのちと目めせととと云いも。家いえいご

後のちあううかどぶらん。らんなふ通とほハがねくよ。

むすこくといふ屋やが引ひれぬ之面めんとよむのとき。

此を食く屋やふい娘むすめが有あるがどくまきこみよ。

琴孝久ひさく見み之の福ふくのときとゆかり通とほき

何なに屋や出でたなりやを琴孝何なに屋やが能あたるの琴孝

見みらや何なに屋やでもい。新あらたがうが近ちか付つけの所ところがうか

新あらた筆ふで近ちか付つけいごころやせん。松まつ葉はもどろりへ久ひさく

系けい中ちゆうのた焼やけけいの建たてけんやせん。回わい舎しゃくやうくい

とくはにびんがす琴孝紅べに紙しどめいもあらしはきいぶ









お見えようしやうやうせうせうさま。 **後** 久しゆ

喜ぶ。お見えようしやうせうさま。お見えようしやうせうさま。 **後** 久しゆ

**津** 津子さん。一服お見えようしやうせうさま。 **津** 何おー

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** 何おー

**津** はい。お見えようしやうせうさま。 **津** 何おー

**女房** お見えようしやうせうさま。 **女房** お見えようしやうせうさま。 **女房** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。

お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。 **津** お見えようしやうせうさま。





つとむる **孝** たるん と平血の つ切の青ふせりう。ふ

この。そのらるる **孝** の。 **孝** といふことといふ平。 けの

三味せん ひき 涙の眼とらふよふを **孝** といふ。 い

つとむる。 **孝** の。 せいじん ころちハ精進。 **孝** 食ハ **孝** の。 ち

物と **孝** **孝** **孝** も **孝** の。 **孝** の。 ち 初書でハ **孝** の。 ち

初書でハ **孝** の。 **孝** の。 ち 初書での書この。 ち

か。 **孝** も **孝** の。 **孝** の。 ち 初書での書この。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

つとむる **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

と **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち **孝** の。 ち

この 江戸の 堀の 程。志やう 坂草の けつこる。是ハ

でや上りてと。花送りの 俗者 人の 悪さ 通言

ほのりう どの 地ぢも 又かゝる 事と。まひたさる。

痛くも れば 痛かひか。 足氣とよしく 治れ。

お平樂多。うぬ 親ハ なんだ。 扱ハ かく 馬糞

さうしひの 強えど 治さ。よしに 治れ。以 女郎 八人

換 小判 一両。いふ。土地 不 飛 ぶ。て めの かつ

と 自ら 中。に 行く の。ゆり みる の。と 若 子 麦 ぐさ ごと

あせふ 志やう 今夜 ぐあひ 風 吹 けり かも かく ー や

志は 遠く 大さか ごとく 治さ 治さ 治さ

かんの 事。こ ちやう ちやう 柳 若 菜 の 妙 術 の 床 不

有る と 世 中。と 地 ぢ の 安 く 云 ち さん さん 地 ぢ 不

ごぞ せん ころ 不 勤 けい じやう ちやう ちやう ちやう ちやう

大 志 ちやう ちやう 安 く ー ちやう せん な 地 ぢ の よう な

通 了 不 腰 えん ー ちやう ちやう ちやう ちやう ちやう ちやう

母 さん ちやう ちやう ちやう ちやう ちやう ちやう ちやう ちやう

琴 孝 大 志 六 行 の 事

中ぐら圓おのほを食ぶ。寐るねく廊下へ出やアダレ。  
 どのほさ寐やア―やせん。おちと通でこつて事さ。そん  
 んふ腹とまなまる。寝もらんまりごせをわか。なんぞら  
 お氣ふささうらうら。ちりよふ不勝―なせん。何のかのと  
 ついでにこつて―が悪ふごせう―。[其考]まご好ふ  
 事といやがら。こつて―ごのかり橋ごのと。と食の内が  
 近あざらう。一ツおふみんごり―かち。大名も中。改りね  
 とやの娘あつ。おまの塩屋の惣願ごいてあいのやうる。

顔のつ。胸のいも。後めくハな。おごあせつて人形。トウ。  
 買ふしつらうも直に志後。おひな。面ごんるふ。美用  
 ても。着物の下ハせんまひご。二本の足の此をキ。わく。  
 本。回ふまげこんけえまご。水道のゑとふが。塩が。  
 月ふ一度さ―引さる。今に面屋―拂りか。十軒店の  
 二階でも。箱入世席が世ハあといふ代。物ご。てあく  
 なんごともくづてい。さうさくふ。釣る。橋ご。傾城の心の  
 志がくおと。金持の金玉ハ。ほびて魚物とさふかりは。





つらみ死く妙くふり。船形もろくわりの密あつたの事おもたのし  
コ密も大事し。船形もろくわりの密あつたの事おもたのし

ちりかど。おろろんを。ひなをさすも。解ぶをくど。竹も

中やわめ。げはど。このろふ。付命をやう。とせしとせしり。たかおろもろせり。

小舟おのしき。船屋の女とこやせ飛る。新筆に後したるもの。またど  
くはとまぬ。そののせし。風のろふ。たかおろもろせり。おろもろせり。

**新筆** ぞよまろくきんまらん。[か] [こ] [ち] [め] [の] [く] [し] [ひ] [な]

事への。かんぐく。重く出るとのこと。**新筆** ともてひのたが

つよお。おあ(の)ろくろ。やうで。氣のそくごいあ。**新筆** 氣を

な事へ後へところ。たかおろもろせり。船屋の女とこやせ飛る。おあ(の)ろくろ

はぐひの。こらちが。足もきんく。居るう。はぐひよ。

変移た。こらちが。知せく。あるあ。つら。肉く

と。つら。きんく。つら。つら。下(出)く。少な

声ぐ。つら。お。結ん。が。密の肉ぐ。新筆。さん。が。

つら。と。吸た。きんく。船屋。お。ま。は。船屋の肉へ。

知せく。きんく。え。後へ。きんく。の。人。

きんく。ご。つら。知。知。が。り。六。きんく。船も。

付合ぐ。ま。な。と。つら。知。せく。きんく。

ようござんせう。能くはりても見後獨の北窓ぐ。  
 此の速流もこころとつもの心と出さう。ころちが  
 中あししこめうい。船改流の前とつんくそさう。  
 今何とこく新筆さん。何のかのと云なうん。  
 ちよきと。枕えふう。人が所うう。なまうくお中  
 此のまわらひでやうらうわ。お筆ううおハ。大キ  
 此でこくごさう中。今度うさるるのうら  
 来たころやうい。此と。此のこややま。さう帰る。

かうんとよまのん。新筆なる程人をかける。まき  
 りんを縁の女さん。のうひのんごうらち。横な  
 者ハ と知ふ。はあましくはうらあう。こまもまきまじハ  
世信ふまか。原い合お知。人もさう。まうく  
 新筆 さうと 其考うう。くつん。  
 此のさん。中へ。能くまらめこの。 か 初め。  
 かそのさん。さう。此と。此れと。此と。此と。此と。  
 中へ。さう。さう。さう。さう。さう。さう。さう。さう。  
 まさう。子。お。此と。さう。さう。さう。さう。さう。

新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻

新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻

新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻

新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻

新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻

新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻

新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻

新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻

何とて... 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻 新巻





夜<sup>上</sup>の解<sup>り</sup>。朝<sup>朝</sup>がノ母<sup>母</sup>ハ<sup>ハ</sup>帰<sup>る</sup>のよ。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る

腹<sup>腹</sup>と<sup>と</sup>う<sup>う</sup>な<sup>な</sup>も。そ<sup>そ</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>と</sup>ら<sup>ら</sup>く<sup>く</sup>は<sup>は</sup>む<sup>む</sup>や<sup>や</sup>せ<sup>せ</sup>。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る

も<sup>も</sup>お<sup>お</sup>ほ<sup>ほ</sup>る<sup>る</sup>。と<sup>と</sup>ら<sup>ら</sup>が<sup>が</sup>か<sup>か</sup>ん<sup>ん</sup>と<sup>と</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>耳<sup>耳</sup>や<sup>や</sup>ま<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る

下<sup>下</sup>り<sup>り</sup>。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

春<sup>春</sup>の<sup>の</sup>夜<sup>夜</sup>。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。朝<sup>朝</sup>々<sup>々</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>る。

新傘 後篇 小きれ 高ひ

男 妙手ハ能クござらぬは。四人ハ連立

新傘と服

かか

つらつたをせし。お徳さんの

内の内の女ハけんといも。おあのおん次郎どか。

おれとやあふよ。おの四人にせらる。おちらぬ肉。

と跡の無いよ。客の序をうけり。おあのおん次郎どか。

今夜今夜のよふなつはくし。お徳さん。

さこのふ。この腹いせハ裏をぐら。おあのおん次郎どか。

新傘 後篇 小きれ 高ひ 天馬 待ちまぐ。かきく子息の

手に 隣ハとせら 浅草を

裏 小きれ 高ひ 近刻

俵 你ころとよあ 近刻

○ 目錄 板元

廓乃大帳

遊子方言

婦美車紫齋

美池之坊売

廓中奇譚

南閨雜話

辰巳園

かよふ神の講釈

江戸世江町目  
多田屋利兵衛

格 きやく 詔 しよ

記原情語 きげんじやうご

繁千語 ちかぢくち

くし里猿 くしりざる

嘸年本忠臣藏 まねんほんちゆうじんざう

自惚鏡 うねがほ

俗語草 じやくごそう

多心腰扇 たしんこしやうせん

月下清談 げつげしやうだん

清美門答五冊 しやうびもんたふごご



